

都市再生整備計画 事後評価シート  
本厚木駅周辺地区

平成30年3月

神奈川県厚木市

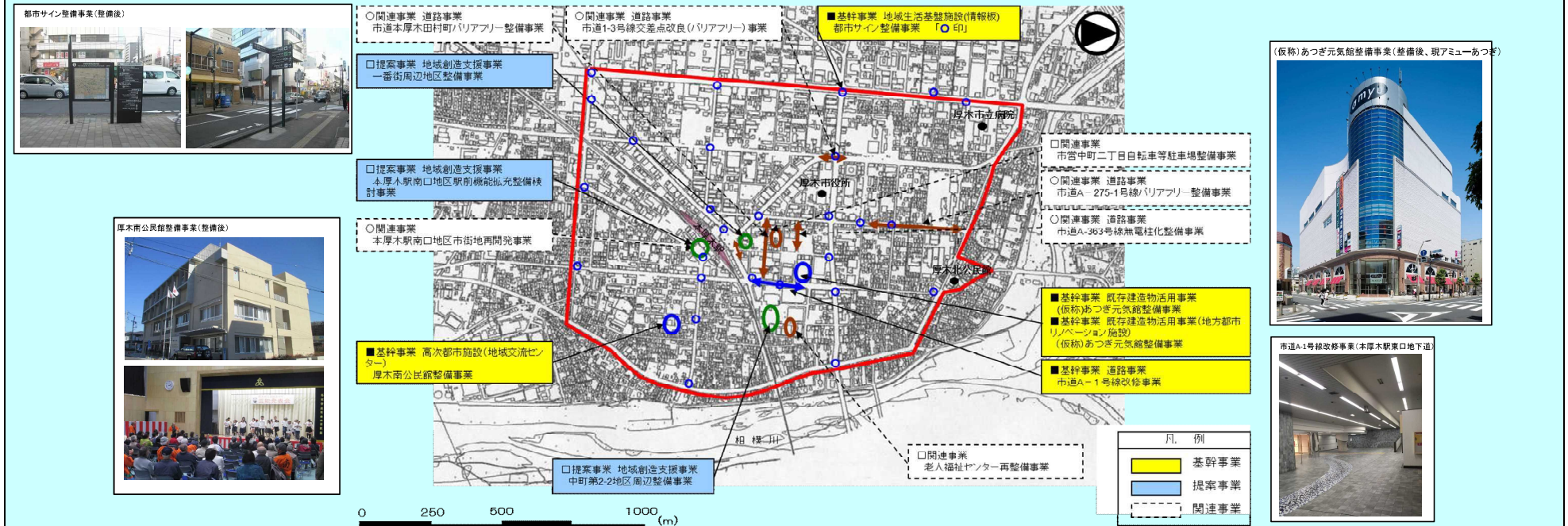




## 様式2-2 地区の概要

### 本厚木駅周辺地区(神奈川県厚木市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地における賑わいの再生</li> <li>中心市街地における快適な歩行空間等の充実</li> <li>中心市街地における交通拠点の強化</li> </ul>	活気に対する意識	単位: %	43.0	H23	48.0	H29	31.8	H29
	歩行空間に対する意識	単位: %	68.4	H25	75.1	H29	66.3	H29
	バスの待機延長	単位: m	80.0	H23	0.0	H29	60.0	H29



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存建築物を活用した(仮称)あつぎ元気館の整備により、中心市街地における賑わいが創出された。</li> <li>近隣都市に大型商業施設が出没するなど、他市との競争が加速傾向にあり、本市における商店数は減少傾向にあるため、中心市街地の更なる活性化が求められている。</li> <li>都市サインを整備したことにより、周辺環境に配慮された、連続性、一体感のある公共サインとなり、誰もが歩きやすい歩行空間となった。</li> <li>道路幅員が狭い及び段差が生じている箇所が部分的にある。</li> <li>歩車分離を促進し、バスの待機延長の減少等、渋滞解消に対して一定の効果があった。</li> <li>本市は、鉄道や高速道路等のネットワークが発達しており、交通結節点として高い優位性があるものの、道路幅員が確保されていない等、交通機能面において不十分な部分が残っている</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店会や企業等、民間と行政が一体となって、魅力あるまちづくりを推進する。</li> <li>(仮称)あつぎ元気館の利用者数を維持するため、文化芸術の振興や、生涯学習の推進、子育て支援を継続する。</li> <li>厚木市公共サインガイドラインに基づき、快適な歩行環境及び良好な景観の保持に努める。</li> <li>歩車分離を促進するため、地下道の歩行環境保持に努める。</li> <li>近隣都市の状況を把握しつつも、本市の特性を生かした独自性のあるまちづくりを推進し、魅力の向上と賑わいの創出を図る。</li> <li>中心市街地全体を俯瞰した、計画的かつ戦略的なまちづくりを推進し、将来を見据えた持続的な賑わいを創出する。</li> <li>誰もが歩きやすい歩行空間を確保し、中心市街地における回遊性の向上を図る。</li> <li>快適性や安全性に配慮した歩行空間を整備し、中心市街地の利便性の向上を図るとともに良好な景観を形成する。</li> <li>本市の都市構造を踏まえた機能的で利便性の高い交通環境を整備し、交通ネットワークの更なる強化を図る。</li> </ul>